

1-2-① 東・西図書館と中・南・加佐分館を知る

◆ 舞鶴市立東図書館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月22日(木)午後2：40～

場所：舞鶴市立東図書館

出席：舞鶴市立東図書館：竹之内館長、河田主任（両名とも司書）
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○施設概要

- ・建設：1989年、延床面積：1,014㎡、構造：RC一部S造平屋建
- ・BDS盗難防止ゲート/システムなし

○資料概要（令和2年度）詳細は図書館年報令和2年度に詳しい。

- ・蔵書：12.4万冊（開架8.7万冊、閉架3.7万冊、双方満杯状態）
磁気テープやICチップの装備を図書にしていない。
- ・蔵書の内訳：一般図書9.0万冊、児童書3.4万冊
（東西図書館それぞれの分類別蔵書構成の割合は左下表に転載）
- ・雑誌127タイトル、新聞16紙、視聴覚資料1099点
- ・全国同規模都市比較からは年間資料費が少ない印象がある。

○利用状況（令和2年度）*感染症拡大のため1ヶ月の休館あり

- ・個人貸出冊数：12.4万冊、貸出者数：6,061人
- ・団体貸出冊数：1.3万冊、のべ利用団体数：446
- ・全市登録率35%、市民1人年間貸出冊数3.17冊、
全市ネットワーク展開が弱く、登録や貸出数の成長が足踏み状態。

○施設状況<建築的課題>

- ・雨水漏水の修繕をたびたび行っている。（屋上か高窓廻りか）
- ・トイレは和便のみ、改修が必要。（給排水管設備も心配）
- ・空調機の効きが悪い（旧型ファン機器を修繕して使っている）
- ・空調機の老朽化（故障すると交換部品が無い）
- ・書架間通路幅など新パリアフリー法規格にあっていない（w1.2m）
- ・西と南の日差しが入る構造でブラインド調光や遮熱断熱に課題

○施設状況<図書館機能的課題>

- ・開架、閉架ともに満杯の状況。（現施設収容力自体が小さい）
30万冊開架への成長不可、書庫積層化で集密型導入できず、
- ・対面朗読室が2室あるが、利用無く、資料倉庫化している。
- ・開架書架は高書架だが6段で7段化できない寸法構造。
- ・カーペットコーナー/共用お話し室は、防音性能や集中性には不十分。
- ・読書テラスがあるが、防犯監視や管理区画に対応できていない。
- ・新聞現物保存方法と収納架の対応が、過渡的なままで不十分。
・書庫上層への図書搬出入昇降が人力で重労働か。

東図書館の蔵書構成

| | 一般書 | 児童書 |
|--------|---------|--------|
| 0総記 | 1,454 | 227 |
| 1哲学・宗教 | 1,991 | 120 |
| 2歴史・地理 | 6,018 | 1,183 |
| 3社会科学 | 9,173 | 1,037 |
| 4自然科学 | 4,811 | 2,473 |
| 5技術・工学 | 5,174 | 736 |
| 6産業 | 2,136 | 504 |
| 7芸術 | 5,577 | 1,276 |
| 8語学 | 1,096 | 245 |
| 9文学 | 22,185 | 9,008 |
| 絵本 | 70 | 7,261 |
| 紙芝居 | 0 | 551 |
| 参考資料 | 1,433 | 206 |
| 郷土資料 | 768 | 6 |
| 開架計 | 61,886 | 24,833 |
| 閉架 | 28,588 | 8,715 |
| 合計 | 124,022 | |



閉架書庫。積層書庫の上階は固定架で8段だが天板の上まで資料が載り、満杯の状況。



新聞の現物保存が奥のスペースを専有している。



6段高書架で開架配架。通路幅。窓際に読書席がならぶ。



サービスデスクに対して垂直に書架がならぶ。開架冊数87,000冊。新刊や企画展示が意欲的。



サービスデスク手前側に9門を高書架で配架。高窓からの採光天井に工夫も効果薄い。



入口から左に子ども開架、じゅうたんコーナー。絵本がならぶ。コンテナも動員して配架している。

◆ 舞鶴市立西図書館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月21日(木)午後3:30～

場所：舞鶴市立西図書館

出席：舞鶴市立西図書館：西躰館長、岡山主任（両名とも司書）
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○施設概要

- ・建設：1990年、延床面積：919㎡、構造：RC造 平屋建
- ・BDS 盗難防止ゲート/システムなし

○資料概要（令和2年度）詳細は図書館年報に詳しい。

- ・蔵書：11.8万冊（開架7.6万冊、閉架4.2万冊、双方満杯状態）
磁気テープやICチップの装備を図書にしていない。
- ・蔵書の内訳：一般図書8.5万冊、児童書3.3万冊
（東西図書館それぞれの分類別蔵書構成の割合は左下表に転載）
- ・雑誌124タイトル、新聞18紙、視聴覚資料1140点
- ・全国同規模都市比較からは年間資料費が少ない印象がある。

○利用状況（令和2年度）*感染症拡大のため1ヶ月の休館あり

- ・個人貸出冊数：12.6万冊、貸出者数：6,483人
- ・団体貸出冊数：1.8万冊、のべ利用団体数：533
- ・利用状況は、西図書館が東図書館を上回っている。
- ・近年利用が上がっている高野・中筋地域には新興住宅地がある。
全市ネットワーク展開が弱く、登録や貸出数の成長が足踏み状態。

○施設状況<建築的課題>

- ・雨水漏水の修繕をたびたび行っている。（屋上か高窓廻りか）
- ・トイレは改修が必要。（給排水管設備も心配）
- ・空調機の効きが悪い（旧型ファン機器を修繕して使っている）
- ・空調機の老朽化（故障すると交換部品が無い）
- ・書架間通路幅など新バリアフリー法規格にあっていない（w1.2m）
- ・西と南の日差しが入る構造でブラインド調光や遮熱断熱に課題

○施設状況<図書館機能的課題>

- ・開架、閉架ともに満杯の状況。（現施設収容力自体が小さい）
30万冊開架への成長不可、書庫積層化で集密型導入できず、
- ・対面朗読室が2室あるが、利用無く、資料倉庫化している。
- ・開架書架は高書架だが6段で7段化できない寸法構造。
- ・カーペットコーナー/共用お話し室は、防音性能や集中性には不十分。
- ・読書テラスがあるが、防犯監視や管理区画に対応できていない。
- ・新聞現物保存方法と収納架の対応が、過渡的なままで不十分。
・書庫上層への図書搬出入昇降が人力で重労働か。

西図書館の蔵書構成

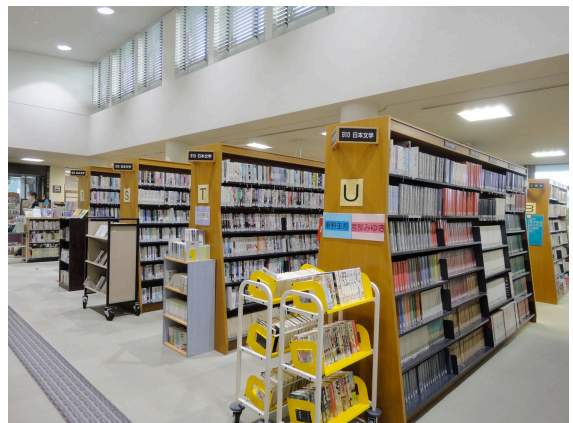
| | 一般書 | 児童書 |
|--------|---------|--------|
| 0総記 | 1,354 | 183 |
| 1哲学・宗教 | 2,169 | 156 |
| 2歴史・地理 | 5,936 | 991 |
| 3社会科学 | 7,117 | 948 |
| 4自然科学 | 3,838 | 2,210 |
| 5技術・工学 | 4,379 | 762 |
| 6産業 | 1,432 | 453 |
| 7芸術 | 4,441 | 1,189 |
| 8語学 | 1,132 | 326 |
| 9文学 | 19,676 | 7,342 |
| 絵本 | 0 | 6,523 |
| 紙芝居 | 0 | 606 |
| 参考資料 | 977 | 135 |
| 郷土資料 | 1,634 | 1 |
| 開架計 | 54,085 | 21,825 |
| 閉架 | 31,187 | 10,764 |
| 合計 | 117,861 | |



閉架書庫。積層書庫だが上階は固定架。新聞の現物保存がスペースを取り、閉架図書42,000冊で余裕なし。



サービスデスクに対して垂直に書架がならぶ。開架冊数76,000冊。書店のようなテーマ展示。



サービスデスク手前側に9門を高書架で配架。書架が足りず通路にカラーボックスを配置している。



入口からすぐに子ども開架。じゅうたんコーナー。コンテナも動員配架。手前は紙芝居架だが少ない。



入口脇に新聞雑誌コーナー。平机に新刊や企画展示を工夫して演出している。配置の工夫し尽くしている。

◆ 舞鶴市立図書館中分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月21日(木)午後1:50～

場所：複合施設中総合会館 中公民館内 中分館

出席：舞鶴市中公民館：三浦氏（公民館兼務）

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- ・複合施設中総合会館1階、中公民館内に設置。97.3㎡学校の教室標準が64㎡なので、1.5教室のひろさ。
- ・複合施設には、保健センター、デイサービスセンター、子育て支援センター、福祉協議会、地域包括支援センター等が入っていて、相乗的なついでの利用が魅力という。

○資料管理と貸出方式

- ・蔵書は10,000冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。雑誌15タイトル、新聞5紙、紙芝居240タイトル程度
- ・資料構成は、児童書、9門が中心。
- ・貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できる。
- ・利用登録者は6,785人。(令和2年度)
- ・東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- ・組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書室。

○中分館の資料費

- ・予算：65,000円程度(例年：令和2年度は追加予算あり)
- ・資料購入、資料費負担、装備は東図書館。選書は分館。
- ・購入希望(選書)は中公民館から出している。

○中分館のサービス

- ・貸出：1人3冊、2週間まで
- ・予約受付：中分館の資料のみ
- ・カウンター業務は公民館職員が行っている。司書非配置。(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- ・東、西図書館の資料の返却・予約受け渡しは行っていない。
- ・ICT環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようすと課題

- ・中総合会館と併せて利用されているようだ。親子連れや高齢者が多い。
- ・児童書や9門の人气が高く、実用書はあまり動かない。
- ・資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



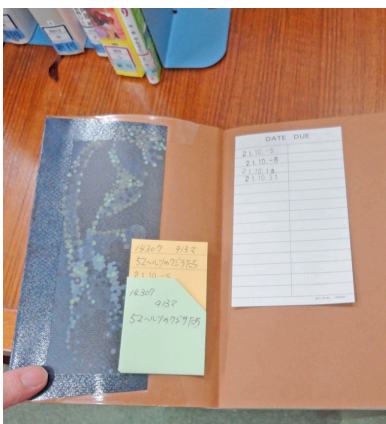
中総合会館1階入口脇にある。公民館事務室と接している。カウンター業務は公民館職員が行っている。



読書机8席、ソファー席があり、新聞・雑誌・絵本紙芝居もある。整理行き届く。利用繁忙の乱れ無し。



資料構成は児童書と9門の割合が多い。全集目立つ。



期限表をつけている。



貸出は逆ブラウン式で利用守秘。



VTR視聴席があり、AV資料は著作権処理されている。行政資料・パンフレット等も閲覧可能。

◆ 舞鶴市立図書館南分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年10月22日(金)午前10：40～

場所：南公民館内 南分館

出席：舞鶴市南公民館：前羽館長、澤野氏
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- ・南公民館1階の入口すぐの位置にある。42.0㎡。
学校の教室標準が64㎡なので、0.7弱教室のひろさ。

○資料管理と貸出方式

- ・蔵書は7,000冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。
(開架7000冊には見えなかった) 雑誌5タイトル、新聞2紙、
児童書3,500冊、実用書800冊、9門1,500冊、文庫、絵本
- ・貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。
資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できるが。
- ・利用登録者は2,473人。(令和2年度)：中分館の36%程度。
- ・資料の廃棄は東図書館に依頼している。
- ・東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- ・組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書室。

○南分館の資料費

- ・予算：55,000円程度(例年：令和2年度は追加予算あり)
- ・資料購入、資料費負担、装備は東図書館。選書は分館。
- ・購入希望(選書)は南公民館から出している。

○南分館のサービス

- ・貸出：1人3冊、2週間まで：1日の平均来館者数が不明。
- ・カウンター業務は公民館職員が行っている。司書非配置。
(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- ・東、西図書館の資料の返却・予約受け渡しは行っていない。
- ・ICT環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようすと課題

- ・児童書や9門の利用が中心、実用書はあまり動かない。
- ・東図書館と南分館を使い分ける利用者は少ないようだ。
- ・高齢者、図書室を目的に来館した親子連れが見られる。
- ・試験前の中高生で、読書席がいっぱいになることもある。
- ・南公民館で活動している朗読ボランティアグループがある。
対面朗読、イベントや学校で活動しているようだ。
- ・東図書館の資料を返却したいという希望は、時々ある。
- ・資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



南公民館 市内でも利用が多い。1階入口脇に南分館がある。耐震診断済み、補強の必要は無しに。



読書机12席 中高生の利用も多いがコロナに不適。



新聞2紙、文庫がならぶ。点字版辞書の蔵書があるが、南公民館で点字ボランティアの活動は無い。



貸出は逆ブラウン式。



雑誌5タイトル。バックナンバーも配架されている。

◆ 舞鶴市立図書館加佐分館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年11月10日(水)午後1:30～

場所：加佐公民館内 加佐分館

出席：舞鶴市加佐公民館：澤田館長、眞下氏(司書有資格)
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○設置場所と設備

- ・加佐公民館1階の入口すぐの位置にある。50.5㎡
学校の教室標準が64㎡なので、0.7弱教室のひろさ。
- ・前面道路より高台だが過去に河川氾濫浸水被害があった。

○資料管理と貸出方式

- ・蔵書は10,500冊程度。電算化や分類統計、防犯装備はない。
雑誌15タイトル、新聞1紙、
児童書3,700冊、一般書6,700冊 紙芝居、絵本あり。
浸水の影響で蔵書の入れ替えがあり、新しい本が多い。
- ・貸出は逆ブラウン式。利用プライバシーは守られている。
資料には期限表を付けている。資料の動きを把握できる。
- ・加佐地域は広く利用登録者は81人と少ない。(令和3年10月)
- ・東図書館、西図書館では分館の蔵書構成を把握していない。
- ・組織上は図書館の分館となっているが、実態は公民館図書館。

○加佐分館の資料費

- ・予算：55,000円程度(例年：令和2年度は追加予算あり)
- ・資料購入、資料費負担、装備は西図書館。選書は分館。
- ・購入希望(選書)は加佐公民館から出している。

○加佐分館のサービス

- ・貸出：1人3冊、2週間まで・広域な地区で利用拡大に限界性。
- ・カウンター業務は公民館職員が行っている。司書有資格者在籍。
(図書館との兼務辞令なし、公民館職員として対応)
- ・東図書館、西図書館の資料の返却のみ可能。(市の連絡便使用)
予約は受付なし。依頼があれば目録等の蔵書検索を職員が行う。
- ・ICT環境、利用者端末、インターネット環境無し。

○利用者のようす、分館運営上の工夫と課題

- ・学校帰りや親子での利用がある。(貸出増大傾向かは疑問)
- ・新刊のチラシ作成したところ、利用者が増えた。
公民館のふれあい講座などで、分館のPRを行っている。
- ・高齢者向けにはハードカバーの購入を多くしているが、
若者向けは文庫本を選定。(配架や予算上の工夫が棚に見える)
- ・資料・職員・施設の図書館3要素の指標からは発展性が弱い。



加佐公民館・市役所加佐分室 1階入口脇に、加佐分館がある。広域な加佐地域支援の重要な拠点施設。



読書机4席、コロナ対策も手作りで対応されている。



雑誌15誌、読書席の近くに辞典類の禁帯出資料。展示配架に工夫や手を入れて場を創っている。



一般書は9割比率が高い。全集ものを下段に置く等配架の工夫をしている。棚に手が入っているが。



紙芝居・絵本・児童書が蔵書の約6割。新刊本は妻側の目立つところに配架など工夫されている。

1-2-② 図書館と類縁施設を知る

◆ 大浦会館 訪問ヒアリング記録

日時：令和3年11月11日(水)午前9：10～

場所：大浦会館 図書室

出席：舞鶴市大浦会館：澤田氏、河合氏(司書有資格)

市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○図書室の設置場所と設備

- ・広域な大浦地域の南端、中心市街地からの導入部拠点に、公民館大浦会館があり、その1階にある。51㎡
- ・学校の教室標準が64㎡なので、0.8教室のひろさ。
- ・大浦会館周辺は、小学校、放課後児童クラブ、こども園、デイサービスなどが集中している地域支援の拠点である。各種送迎の時間には住民関係者が集まりやすい。

○図書室の運営

- ・貸出は行っていない。
- ・室内の閲覧のみ。資料補強は弱い。
- ・図書の閲覧を目的とした来館は見られない。

○大浦小学校区地域放課後児童クラブ

- ・図書室で運営している活動団体。
- ・図書室の児童書を読む子どももいる。

○大浦会館の利用者

- ・山越えの北側海岸沿い集落など大浦地区に住んでいる方は漁業就業など忙しいのか、あまり会館の利用がない。
- ・東舞鶴など中心地区の利用者のほうが多いように感じる。
- ・自家用車での利用が多い。

○大浦地区の生活像、住民の移動の概況

- ・大浦小学校への通学：スクールバス、1km圏内は徒歩。
- ・沿岸から東舞鶴駅までの自主運行バスがあるが、本数が少なく、バス料金は高額である。
- ・買い物は、車で中心部へ行く。生協の宅配を利用する人も。移動販売車「とくし丸」が定期的に廻っている。
- ・舞鶴市地域づくり振興課が若い世代の定住者を呼び込むプロジェクトを行っている。キャンプ場や体験農場の開設などが進んでいる。

○現況の課題と将来的な可能性

- ・現在は図書分館ではなく、大浦地域にサービス拠点は無い。
- ・広域な大浦地区に住む多世代の居住者には、小学校、こども園、デイサービス、大浦会館（公民館）の4施設が集約した界隈は、今後も重要な社会接点であり、公共サービス支援拠点になろう。
- ・図書館サービスシステムのアウトリーチサービス拠点として、可能性と重要性を感じさせるポイントに位置づけられる。今後、BMサービス拠点もしくは分館化などの可能性研究は、意味が大きいのではないだろうか。



大浦会館 まわりに小学校・こども園・デイサービスセンターがある。



読書机8席、蔵書は児童書が中心。



図書室で大浦小学校区地域放課後児童クラブが運営されている。



図書室の蔵書は、室内での閲覧のみ。

◆ 舞鶴市議会図書室／総務課図書コーナー 市政情報コーナー 訪問ヒアリング記録

日時：令和4年1月17日(月)午前11:50～

場所：市議会図書室、舞鶴市総務課

出席：舞鶴市議会事務局総務課総務係：松浦係長、藤原担当
舞鶴市総務部総務課：多田課長
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

<市役所内 議会図書室>

○配架と蔵書について

- ・配架しているものは、議会の会議録、法律や議会運営に関する一般書、市の刊行物など。
- ・配架量は8連4段程度。古くなった資料は保管庫に移動。条例で廃棄する保管年数は決まっているが、基本的に廃棄はない。(今後、保管庫の容量で検討することになる)
- ・市の調査記録等で検討段階の印刷物は配架しない。
- ・議員だより等は、個別ファイルに整理はしていない。政務活動費でつくられたものは添付資料として提出してもらう。
- ・図書館との連携なし。資料持ち合いや蔵書リストの共有はなし。
- ・資料購入は、議員各派から購入希望書籍名を挙げてもらい決定。

○資料提供について

- ・行政の調査資料は各課から電子資料で提供を受けている。市議会では独自にクラウドシステムを持っており、クラウドにアクセスできるのは、市議と議会事務局のみ。
- ・一般市民の利用はない。

○レファレンスについて

- ・近隣行政に関する調査を受けることはあるが、基本的に、議員ご自身で調べていただいている。

<総務課図書コーナー>

- ・市役所職員の図書検索や利用については、議会図書室よりも総務課内の「法令規則系図書コーナー」が知られている。

○配架について

- ・配架しているものは、加除式の法令資料、法律や情報公開関係の一般書など。
- ・配架量は4連3段程度。

○貸出について

- ・図書貸出簿に記載してもらい、管理している。

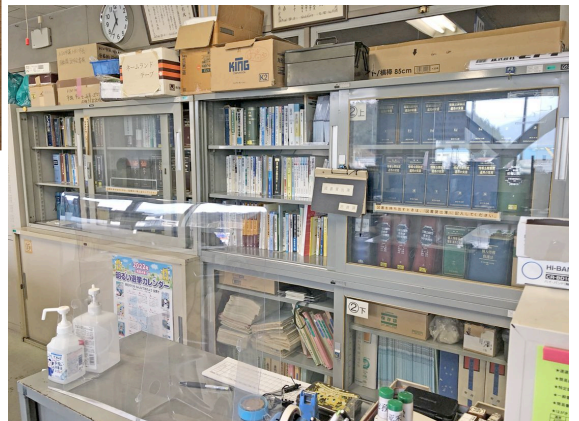
○将来的な図書館との連携の可能性

- ・議員諸氏や市役所職員への資料提供や調査支援は、目指すべき課題解決型図書館のサービスとなっている。
- ・検討部会の協議でも、鳥取県、横浜市、日野市の市政図書室(図書分館化)の先例を紹介している。(片山前知事・前総務大臣の行政図書館の重要性に関する解説、根本彰東大・慶大元教授の日野市市政図書館調査)
- ・近年の図書館計画の動向として、議員・行政職員・市民の調査利用を支援する「行政資料図書館」の必要性、重要性の再確認が普及している。
- ・各地の形骸化した低利用の議会図書室を、全市図書館システムに組み入れ、専門職員を配置し、地域行政資料(広域市町村行政を網羅して)を積極的に収集して、コンシェルジュのように調査支援やドキュメンテーション(簡易調査と調書作成)を行う。この情報ストックを全市図書館システムとした東京日野市の施策が知られる。
- ・舞鶴市では、上記のような図書館の行政サービス、行政図書館分館体制への施策方針について、どのような段階を踏んで具体化を図ってゆけそうか、今後の詳細な検討と方針・意志決定が求められているといえる。市役所近くに付帯する行政資料分館についても、図書館基本計画の研究テーマに加える必要がある。



市議会図書室 蔵書量は8連4段程度。古くなった資料は保管庫へ移動する。

←市議会図書室 蔵書リスト分類は配架のためにアルファベットで管理している。



行政職員が利用している総務課図書コーナー



市役所1階玄関ホールの市政情報コーナー